

セブンイレブン 河口湖美術館通り店（富士河口湖町）

勾配屋根を採用

山並みなどの周辺景観との調和に配慮

「はり」「柱」を見せる

景観保全型
広告規制地区

対象箇所

高さを低くした建植看板

腰壁の採用

モノトーンを基調とした
色彩にし、和の趣のある
店舗にしている

【活動概要】

当該セブンイレブンは令和2年10月に開業し、景観保全型公告規制区域外でありながら以下の項目を率先して実施することで、美しいまち並みづくりに寄与しております。

- 建物の屋根形状に富士河口湖町景観計画で推奨する勾配屋根を採用することで、山並みなどの周辺景観との調和に配慮。
- 建物の壁面に「腰壁」を設置し、また「はり」、「柱」を見せるなど和装の意匠を施し、さらに店舗全体を、モノトーンを基調とした色彩にし、和の趣のある店舗にしている。
- 高さを低くした建植看板を使用し、眺望の妨げにならないよう配慮している。
- 建植看板、壁面広告ともにセブンイレブンのコーポレートカラーではなく周辺の景観に配慮した色彩を採用している。
- 富士河口湖町景観計画の「富士山信仰の歴史と観光リゾート文化が共生する景観づくり」を目指す当河口地区の方針に沿っている。

【活動場所】 富士河口湖町河口

【主催】 セブンイレブン 河口湖美術館通り店

セブンイレブンのコーポレートカラーではなく周辺の景観に配慮した色彩を採用

高さを低くした建植看板を使用し、眺望の妨げにならないよう配慮している